

この橋のたもとの柳おでんの灯 おでん屋の壁の達筆ゆでたまご
 街灯の他はおでんの灯が一つ おでん屋のゆの字といへば茹卵
 遅番に後は任せておでんかな 息災やおでんの中のゆで卵
 裏門を徒歩一分のおでんかな おでん屋の辛子の篋も見慣れたる
 残業の人と落ち合ふおでんの灯 おでんの具一廻りしてきてそこで
 おでん屋に雪を払ひつ入りけり 主役にはなれぬ白滝おでん酒
 おでん屋の暖簾が背ナを庇ふかに おでん酒おでんを食べば捗りぬ
 おでん屋の今日はおでんは出戻り娘とよじやんけんに負けておでんを買ひに行く
 おでん屋の壁の品書き湯気の中 今年あと残すところのおでんの灯
 おでん屋の壁の品書き赤と黒 おでんの香乗せて回送電車なり

2023 全然掌歳時記 冬

【おでん2】

12月3日 20時18分 2023年 12月3日 発

9行2段12ポ 桐10

この橋のたもとたもとの柳おでんの灯 息災やおでんの中のゆで卵

街灯の他はおでんの灯が一つ おでん屋の辛子の籠も見慣れたる

裏門より徒歩一分のおでんの灯 おでんの具一廻りしてさてそこで

残業残業の人も来りておでん食食ふ 主役にはなれぬ白滝おでん酒

おでん屋に雪を払ひつ入りけり おでん酒おでんを食へば埒りぬ

おでん屋の暖簾が背ナを庇ふかに じゃんけんにかけておでんを買ひに行く

おでん屋の出戻りの娘に通ふなり 今年あと残すところのおでんの灯

おでん屋の壁の品書き赤と黒 おでんの香乗せて回送電車なり

おでん屋の壁の達筆ゆでたまご こんはやくのみ焼をとびくおでん派

2

2023 全然堂歳時記 冬

【おでん2】

12月3日11時^{2023年}

12月3日 癸

10行2段12ボ 桐10

この橋のたもとの柳おでんの灯 蒟蒻の効能を説くおでん酒
新橋に黒き機関車おでんの灯 主役にはなれぬ白滝おでん酒
街灯の他はおでんの灯が一つ 息災やおでんの中のゆで卵
じゃんけんにかけておでんを買ひに行く おでん屋の辛子の籠も見慣れたる
裏門より徒歩一分のおでん酒 おでんの具一廻りしてきてそこで
遅番にちと差入のおでんかな おでん酒おでんを食へば捌りぬ
おでん屋に雪を払ひつ入りけり おでん屋を出て差す傘におでんの香
残業の人も来りておでん酒 灯を消して霧に消えゆくおでん屋よ
おでん屋の出戻りの娘に通ふなり おでんの香乗せて回送電車なり
おでん屋の壁の品書き赤と黒 今年あと残すところのおでんの灯

2023 全然堂歳時記 冬

【おでん2】

12月3日11時20分 12月3日 10行2段12ポ 桐10

じゃんけん²⁷に負¹²けておでん¹¹を買¹⁴ひに行く 蒟蒻の効能を説くおでん酒
新橋に黒き機関車おでんの灯 主役にはなれぬ白滝おでん酒
この橋のたもとの柳おでんの灯 息災やおでんの中のゆで卵
街灯の他はおでんの灯が一つ おでんの具一廻りしてきてそこで
裏門より徒歩一分のおでん酒⁹ おでん酒おでんを食へば捗りぬ
遅番にちと差入のおでんかな おでん屋の辛子の籠も見慣れたる
おでん屋に雪を払ひつ入りけり おでん屋を出て差す傘におでんの香
残業の人も来りておでん酒 ~~△~~を消¹⁵して霧¹³に消¹⁴えゆくおでん屋よ
おでん屋の出戻りの娘に通ふなり おでんの香乗せて回送電車なり
おでん屋の壁の品書き赤と黒 今年あと残すところのおでんの灯

④

15) け

じゃんけんで負けておでんを買ひ行くに行くおでん屋の出戻りの娘に通ふなり
 この橋のたもとの柳おでんの灯おでん蒟蒻の効能を説くおでん酒
 街灯の他はおでんの灯が一つ 主役にはなれぬ白滝おでん酒
 裏門より徒歩一分のおでんの灯 息災やおでんの中のゆで卵
 遅番にちと差入のおでんかな おでんの具一廻り←してきてそこで
 おでん屋に雪を払ひつ入りけり おでん酒おでんを食へば捗りぬ
 残業の人も来りておでん酒 おでん屋の辛子の籠も見慣れたる
 口の実と書いて口実おでん酒 おでん屋伊方を出て差す傘におでんの香
 おでん屋の湯気やきとり屋の煙 おでんの香乗せて回送電車なり
 おでん屋の赤丸付のお品書 今年あと余すところのおでんの灯

①

⑤

2023 全然堂歳時記 冬

【おでん2】

12月12日 時^{2023年} 12月16日 発

10行2段12ボ桐10

駅を出て徒歩一分のおでんの灯口の实と書いて口実おでん酒
この橋のたもとの柳おでんの灯 残業の人も来りておでん酒
街灯の他はおでんの灯が一つ 蒟蒻の効能を説くおでん酒
県庁に残業の灯やおでん酒 主役にはなれぬ白滝おでん酒
じゃんけんで負けておでんの買ひ出しに 息災やおでんの中のゆで卵
おでん屋に雪を払ひつ入りけり おでんの具一巡りしてきてそこで
おでん屋の湯気やきとり屋の煙 おでん酒おでんを食へば捗りぬ
品書は墨書赤丸おでん食へ おでん屋の辛子の篋も見慣れたる
△おでん屋の壁の達筆ゆでたまご おでんの香乗せて回送電車なり
おでん屋の出戻りの娘に通ふなり 今年あと余すところのおでんの灯

6

2023 全然堂歳時記 冬

【おでん2】

12月12日14時^{08分}2023年12月16日発

10行2段12ボ桐10

駅を出て徒歩一分のおでんの灯口の实と書いて口実おでん酒
この橋のたもとの柳おでんの灯 残業の人も来りておでんの輪
街灯の他はおでんの灯が一つ 蒟蒻の効能を説くおでん酒
県庁に残業の灯やおでん酒 主役にはなれぬ白滝おでん酒
じゃんけんで負けておでんの買ひ出しに 息災やおでんの中のゆで卵
おでん屋に雪を払ひつ入りけり おでんの具一巡りしてきてそこで
おでん屋の湯気やきとり屋の煙 おでん酒おでんを食へば捗りぬ
品書は墨書赤丸おでん店 おでん屋の辛子の篋も見慣れたる
おでん屋の俳句の下手を着かな おでんの香乗せて回送電車なり
おでん屋の出戻りの娘に通ふなり 今年あと余すところのおでんの灯